

Kofax Analytics for TotalAgility

リリース ノート

バージョン: 1.4.1

日付: 2020-07-29

KOFAX

© 2019 Kofax. All rights reserved.

Kofax is a trademark of Kofax, Inc., registered in the U.S. and/or other countries. All other trademarks are the property of their respective owners. No part of this publication may be reproduced, stored, or transmitted in any form without the prior written permission of Kofax.

目次

第 1 章: このリリースについて.....	4
バージョン情報.....	4
前提条件.....	4
製品ドキュメント.....	5
オフライン ドキュメント.....	5
新機能: 共有ランディング ページ.....	5
第 2 章: 更新の適用と構成.....	6
準備手順.....	6
更新の適用.....	6
サイレントによる更新の適用.....	7
Insight 設定の構成.....	7
Kofax Dark テーマを再適用します.....	8

第 1 章

このリリースについて

このドキュメントには、Kofax Analytics for TotalAgility 1.4.1 に関する情報が含まれています。これにより、次のことが可能になります。

- Kofax Analytics for TotalAgility の共有ランディング ページを使用して Kofax Analytics for RPA ビューに移動する
 - 同じ Kofax Insight サーバーから Kofax Analytics for TotalAgility と Kofax Analytics for RPA を実行する
- このサービス パックには、他の新機能や解決された問題は含まれていません。

このドキュメントには他の Kofax Analytics for TotalAgility ドキュメントには含まれない情報が含まれているため、注意深くお読みください。

バージョン情報

この Kofax Analytics for TotalAgility 製品は、ビルド番号 1.4.1 .0.0.542 として識別され、このビルド番号は、更新を正常に適用した後にビューアの [バージョン情報] ウィンドウに表示されます。

前提条件

使用する環境に Kofax Analytics for TotalAgility 1.4.1 を追加する前に、次の製品がプリインストールされていることを確認してください。

- Kofax Analytics for TotalAgility 1.4.0
- Kofax TotalAgility 7.5.0 またはそれ以降
- Kofax Insight 6.1.0.1 またはそれ以降

Insight をアップグレードする前に、Admin Console の設定 (ユーザーとロール、接続文字列、アラートなど) を書き留めておきます。新しいバージョンの Insight をインストールした後、カスタム設定を再適用する必要がある場合があります。

注 サイレント方式を使用して、Kofax Analytics for TotalAgility 1.4.1 の更新を適用すると同時に Kofax Insight をアップグレードできます。

- Kofax RPA 10.5.0 またはそれ以降*
- Kofax Analytics for RPA 2.0.0 またはそれ以降*

*共有ランディング ページを実装せずにこのアップデートを適用する場合は、Kofax RPA と Kofax Analytics for RPA を事前にインストールする必要はありません。この場合は、第 2 章の「[アップデートを適用する](#)」の手順に従い、「Insight 設定の構成」セクション全体をスキップしてください。

製品ドキュメント

このリリース ノート ドキュメントは、Kofax Analytics for TotalAgility 1.4.1 で導入された唯一の新しいドキュメントです。次のリンクを使用して、『管理者ガイド』や『製品機能ガイド』などの Kofax Analytics for TotalAgility 1.4.0 ドキュメントでの作業を続行します。

<https://docshield.kofax.com/Portal/Products/KAFTA/1.4.0-3k8rtu8xuv/KAFTA.htm>

オフラインドキュメント

オフラインで (インターネット接続なしで) Kofax Analytics for TotalAgility 1.4.0 製品のドキュメントにアクセスするには、[Kofax フルフィルメント サイト](#) からドキュメントをダウンロードします。ドキュメント パッケージは、圧縮ファイル KofaxAnalyticsforTotalAgilityDocumentation-1.4.0_EN.zip (英語) としてダウンロードできます。

新機能: 共有ランディング ページ

Kofax Analytics for TotalAgility の共有ランディング ページは、次の 2 つの Kofax アプリケーションからのデータに基づいてダッシュボード ビューに移動する機能を備えています。

- Kofax TotalAgility ワークフロー中に収集されたデータ。このデータは、[オペレータ]、[システムの概要]、および [ドキュメント] タブで利用できます。
- Kofax RPA ロボットと Process Discovery エージェントによって収集されたデータ。このデータは、RPA および Process Discovery タブで利用できます。

共有ランディング ページを実装するには、以下のバージョンに同じ Kofax Insight インスタンスを使用する必要があります。

- Kofax Analytics for TotalAgility 1.4.1
- Kofax Analytics for RPA 2.0 またはそれ以降

共有 Kofax Insight インスタンスの最小バージョンは 6.1.0.1 です。

注

- 共有ランディング ページは、Kofax Analytics for TotalAgility ブラウザの言語設定に従って表示されます。ただし、Windows Server 2012 R2 で Chrome を使用してランディング ページを表示する場合は、[言語] リストから手動で言語を選択する必要があります。(1276405)
- 選択した言語が Kofax Analytics for RPA でサポートされていない場合、[RPA] ビューと [Process Discovery] ビューの一部のテキストが英語で表示されることがあります。

第 2 章

更新の適用と構成

この章では、Kofax Analytics for TotalAgility の共有ランディング ページに対応するように、更新を適用して Kofax Insight の設定を構成する方法について説明します。

準備手順

更新を適用する前に、次の準備手順を完了してください。

1. **前提条件**セクションで、Kofax Insight 6.1.0.1 以降を含む前述の該当製品がインストールされていることを確認します。この Insight インスタンスは、Kofax Analytics for TotalAgility 1.4.1 および Kofax Analytics for RPA 2.0 で共有されます。
2. Kofax Analytics for TotalAgility 1.4.0 がインストールされているコンピュータのフォルダに **[KofaxAnalytics-1.4.1_For_TotalAgility.ZIP]** の内容を抽出します。

更新の適用

Kofax Analytics for TotalAgility 1.4.1 の更新をインタラクティブに適用するには、次の手順を実行します。別のオプションとして、**サイレント方式**を使用して更新を適用することもできます。

1. **[Insight Admin Console]** を開始します。
2. Kofax Analytics for RPA をまだインストールしていない場合は、手順 3 に進みます。それ以外の場合は、Kofax Analytics for RPA プロジェクトの名前が **[Kofax_RPA]** であることを確認します。
 - a. **[ドキュメント ツリー]** で、**[プロジェクト]** を選択して展開します。
 - b. プロジェクトのリストで、Kofax Analytics for RPA プロジェクトの名前が **[Kofax_RPA]** であることを確認します。
 - c. 必要に応じて、プロジェクトの名前を変更し、変更を保存します。
3. **[ドキュメント ツリー]** で、プロジェクトのリストに戻り、Kofax Analytics for TotalAgility 1.4.0 で現在使用されているプロジェクトを選択します。
4. 右側のペインで、**[変更]** ボタンをクリックします。**[既存プロジェクトの更新 [プロジェクト名]]** ダイアログ ボックスが表示されます。
5. **[ファイルからインポート]** タブを選択します。
6. **[ファイルの選択]** ボックスをクリックするか、ボックスの横にある省略記号をクリックします。
7. **[ファイルを開く]** ダイアログ ボックスが表示されたら、KofaxAnalytics-1.4.1_For_TotalAgility.ZIP の内容を抽出した場所に対応するオプションを選択し、**[OK]** をクリックします。
8. **[ファイルのダイアログを開く]** ウィンドウで、**[プロジェクト]** フォルダを参照して **[Project_KAFTA-1.4.1.0.zip]** を選択し、**[OK]** をクリックします。

9. 新しく選択したプロジェクトが [既存のプロジェクト [プロジェクト名] の更新] ダイアログ ボックスに表示されたら、**[OK]** をクリックします。
10. **[確認]** のプロンプトが表示されたら、**[はい]** をクリックしてプロジェクトのインポートを続行します。
インポートの進行中、画面にインジケータが表示されます。
11. データのインポートが成功したことを確認するメッセージが表示されたら、**[OK]** をクリックします。
12. **[Insight Data Loader]** を起動します。
13. **[実行プラン]** タブの **[実行プラン名]** 列で、**[ワнтаイム プラン1.4.1]** を選択します。
 - a. **[ロード中]** 列で、**[ロード]** をクリックします。
このプランは日付範囲設定を使用しないため、日付範囲設定は更新しないでください。
 - b. **[データのロード]** をクリックします。
[ログ管理] タブでは、プランの実行中に各ステップのステータスが表示されます。
 - c. プランが正常に終了するまで待ちます。
14. **Insight 設定の構成** に進んで、共有ランディング ページに必要な設定を更新します。共有ランディング ページを実装する予定がない場合はこれ以上の操作は必要ないため、ここで手順を終了します。

サイレントによる更新の適用

このセクションの手順に従って、サイレント方式で Kofax Analytics for TotalAgility 1.4.1 に必要なプロジェクト ファイルをインポートし、必要に応じて Kofax Insight のバージョンをアップグレードします。

1. **[KofaxAnalytics-1.4.1_For_TotalAgility.ZIP]** の内容を抽出した後に利用できる **[InstallTools]** フォルダを開きます。
2. **readme.txt** のステップバイステップの指示に従って SilentUpgrade.zip の内容を抽出し、インストール パラメータを構成してから **UPGRADE.bat** を実行して、更新を適用します。

重要 **UPGRADE.bat** には、インストールに関連する機密情報が含まれるため、製品の更新が成功したことを確認した後にこのファイルを削除することを強くお勧めします。

3. 次のセクションに進み、共有ランディング ページに必要な設定を構成します。共有ランディング ページを実装する予定がない場合はこれ以上の操作は必要ないため、ここで手順を終了します。

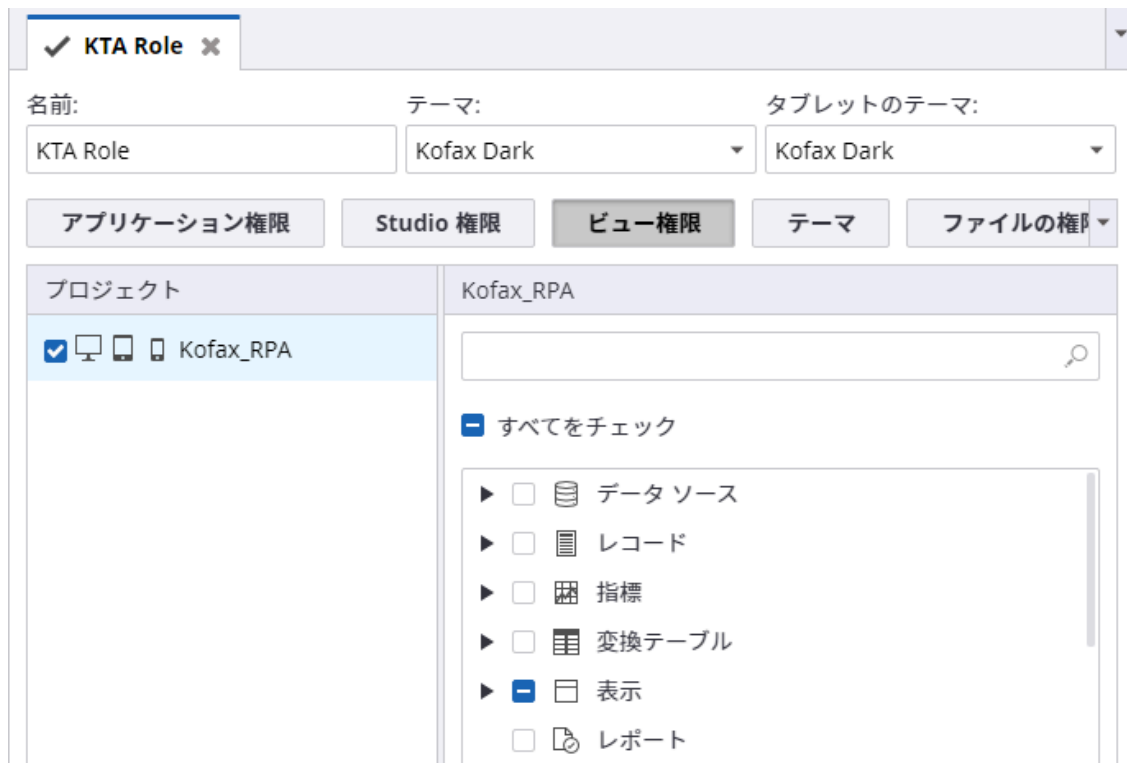
Insight 設定の構成

このセクションの手順を使用して、Kofax Analytics for TotalAgility と Kofax Analytics for RPA のビューへのアクセスを必要とする TotalAgility Workspace ユーザーが共有ランディング ページを確実に使用できるようにします。

注 Kofax Analytics for RPA がインストールが完了するまで、この構成手順は開始しないでください。

1. **[Insight Admin Console]** に戻ります。
2. **[ドキュメント ツリー]** で、**[ロール]** を選択して展開します。

3. ロールのリストで、**[KTA ロール]** や **[KTA 管理者ロール]** など、KTA リソース グループ (Insight ユーザーまたは Insight の管理者) に関連付けられたロールを選択します。
 - a. **[ビュー権限]** タブの **[プロジェクト]** ペインで、**[Kofax_RPA]** チェック ボックスをオンにします。
 - b. **[プロジェクト]** ペインで、**[Kofax_RPA]** プロジェクトを選択します。
 - c. **[Kofax_RPA]** ペインで、**[ビュー]** メニューのチェック ボックスをオンにして、すべての Kofax RPA ビューへのアクセスを有効にします。



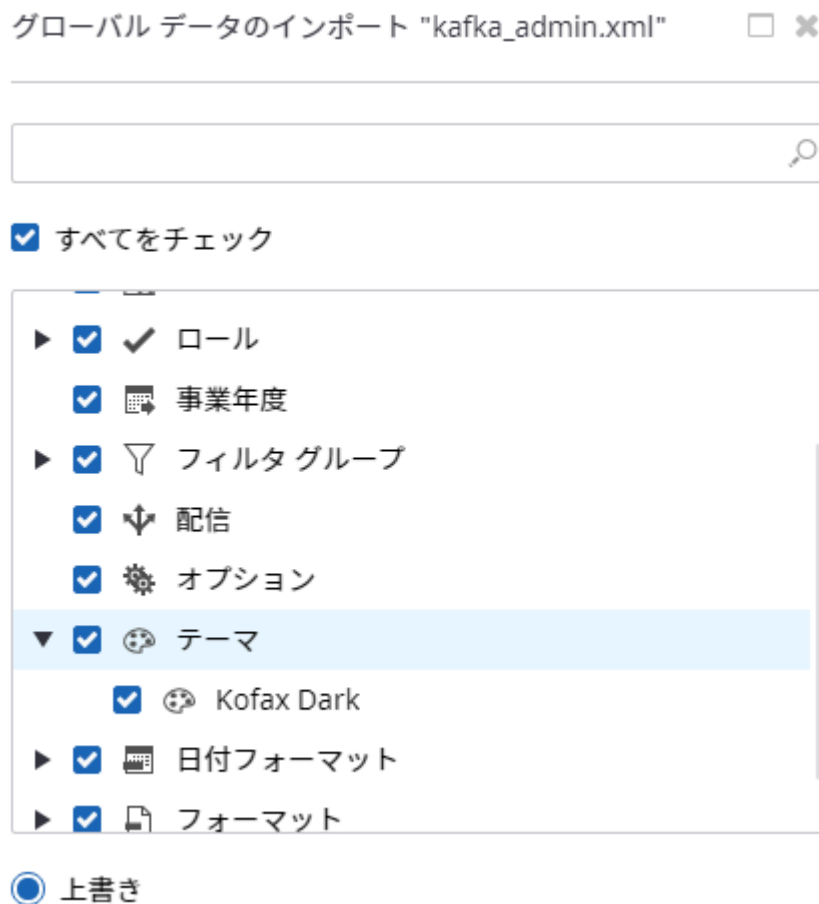
- d. 必要に応じて、**[ビュー]** リストを展開し、選択したロールに割り当てられたユーザーに表示する必要がある Kofax RPA ビューを個別に選択します。
 - e. **[アクション]** ツールバーで、**[すべて保存]** をクリックします。
 - f. 該当する場合は、別のロールを選択し、手順 a~e を繰り返します。
4. Admin Console を開いたままにして、次のセクションに進みます。

Kofax Dark テーマを再適用します

すべてのダッシュボードビューが正しく表示されるようにするには、Kofax Dark テーマ設定を再適用する必要があります。前のセクションの手順が正常に完了するまで、テーマ設定は再適用しないでください。

1. Kofax Analytics for RPA 2.0 製品ファイルを見つけ、**[Kofax_RPA_KAFRPA_2.0.zip]** の内容を Insight のインストールからアクセス可能なフォルダに抽出します。

2. [Admin Console] の [ツール] タブのツールバーで、[インポート] をクリックします。
[ファイルのアップロード] ダイアログ ボックスが表示されます。
3. [Kofax_RPA_KAFRPA_2.0.zip] の内容を抽出したフォルダに移動し、[kafka_admin.xml] を選択します。
[グローバル データのインポート "kafka_admin.xml"] ダイアログ ボックスが表示されます。
4. [すべてをチェック] のチェック ボックスをオフにして、デフォルトの選択をキャンセルします。
5. [テーマ] を選択して展開し、[Kofax Dark] を選択します。
6. [上書き] を選択して、既存の Kofax Dark テーマ設定を更新します。



7. [インポート] をクリックし、確認メッセージが表示されたら、[はい] をクリックしてページをリフレッシュします。